



第5章



沖縄県における国スポ開催後の施設利活用の検討



沖縄県における国スポ開催後の施設利活用の検討

沖縄県における国スポ開催後の施設利活用の検討

目標の設定

国スポ開催を契機に、スポーツアイランド沖縄をさらに加速化させる

目標達成に向けた展開方針

方針① 生涯スポーツの推進

老朽化する公共施設を国スポ開催をきっかけに改修を行うことで、県民が健康・長寿であるために生涯を通してスポーツを楽しめる環境を推進する。

例)幅広い年齢層での施設利用を促進させるために、ユニバーサルデザイン等も考慮した改修工事を行う。競技を行える環境を整えることで、競技人口の増加を図る。



方針② 国際基準を満たした施設整備

国内外で活躍するトップアスリートの輩出にむけた支援環境を整備する。

例)トップアスリートや育成段階のアスリートが安心して競技に専念できる施設環境の整備。



方針③ スポーツ交流拠点の活性化

年間を通じたスポーツコンベンションの開催で、交流拠点の活性化を図るとともに、世界大会等の国際試合の誘致や、プロスポーツ競技の合宿誘致を強化していく。

例)FIBAバスケットワールドカップのような国際大会の招致や、プロスポーツの合宿誘致を増加させる。



方針④ 地域経済の発展

国スポを契機に、官民連携をさらに強化させることでスポーツアイランド沖縄を加速化。

例)民間の活力を活かした、PFI事業やアリーナ整備を実現させる。

